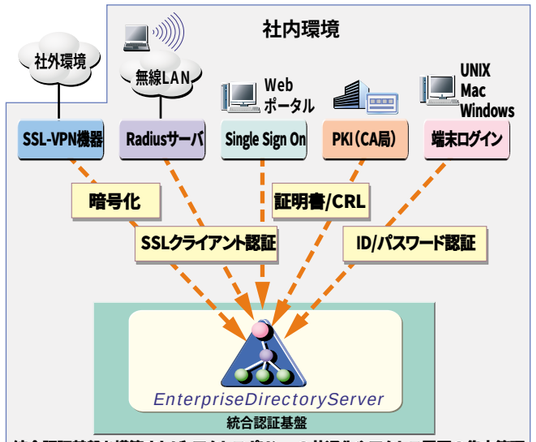
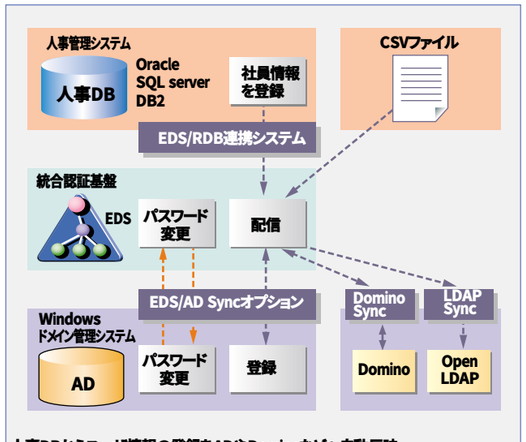
統合認証基盤システム構成例



統合認証基盤を構築すれば、アクセスポリシーの共通化やアクセス履歴の集中管理を実現できセキュリティが向上します。



人事DBからユーザ情報の登録をADやDominoなどへ自動反映。
ADやDominoは双方向ユーザ同期が可能。Windows上でのパスワード変更もOK。

RFC対応一覧

※ EnterpriseDirectoryServer Ver5.0 の対応状況です。

1777, 1778, 1823, 2079, 2195, 2222, 2246, 2247, 2251, 2252, 2253, 2254, 2255, 2256, 2587, 2605, 2696, 2798, 2820, 2829, 2830, 2831, 2849, 2891, 3045, 3112, 3377

オプション

AD Sync-F オプション	EDSからWindowsのActive Directoryへユーザ情報、パスワードを反映するためのオプション
AD Sync-R オプション	WindowsのActive DirectoryからEDSへユーザ情報を反映するためのオプション
AD Sync-W オプション	Windows上でのパスワード変更をEDSへ反映するためのオプション
LDAP Sync オプション	EDSからOpenLDAPやSJS Directory ServerなどLDAP 製品へユーザ情報を反映するためのオプション
Domino Sync オプション	EDSとDominoサーバのユーザ情報を同期するためのオプション
MIIS コネクタオプション	EDSとMicrosoft Identity Integration Serverのユーザ情報を同期するためのオプション
SSLオプション	SSL/TLS通信（サーバ認証、クライアント認証）を行うためのオプション
GPKIオプション	政府電子認証基盤のような統合リポジトリCAサーバとSSL通信するためのオプション

関連製品

EDS/電子電話帳システム	EDSを用いてWebベースの電子電話帳を構築する製品
EDS/RDB連携システム	RDBのデータをLDAPディレクトリに移行、連携する製品

動作環境

ハードウェア	メモリ	1024MB以上推奨
	ディスク	100MB以上推奨 (データ部分は除く)
ソフトウェア	OS	Microsoft Windows 2000, XP, 2003、Solaris 8, 9、HP-UX 11.0,11i
		Red Hat Enterprise Linux AS/ES 3,4、MIRACLE LINUX 2.1/3.0、Asianux 1.0

●すべての製品名、会社名は、各社の商標または登録商標です。

詳しい情報がインターネットでご覧いただけます。http://www.ace.comp.nec.co.jp/EDS

お問い合わせは、下記のNECへ

第二コンピュータソフトウェア事業部　データベースグループ
〒183-8501　東京都府中市日新町1-10（NEC府中事業場）
TEL:042(333)1643　FAX:042(333)1965
E-mail:dbinfo@dbg.bs1.fc.nec.co.jp

★このカタログの内容は改良のために予告なしに仕様・デザインを変更することがありますのでご了承下さい。
★本製品（ソフトウェアを含む）が、外国為替および外国貿易法の規定により、輸出規制品に該当する場合は、日本国外に持ち出す際に日本国政府の輸出許可申請等必要な手続をお取り下さい。
詳しくは、マニュアルまたは各製品に添付しております注意書きをご参照下さい。
★本製品の設置・接続・使用に際しましては、取扱説明書（「ユーザーズマニュアル」「取り扱いの手引き」等含む）に記載されております注意事項や禁止事項をご熟読のうえ、必ずお守り下さい。

日本電気株式会社　〒108-8001 東京都港区芝五丁目7-1（NEC本社ビル）

2005年11月現在

Cat.No.J55898　05110005NP

Empowered by Innovation　NEC

ミッションクリティカル・ディレクトリサーバ

EnterpriseDirectoryServer

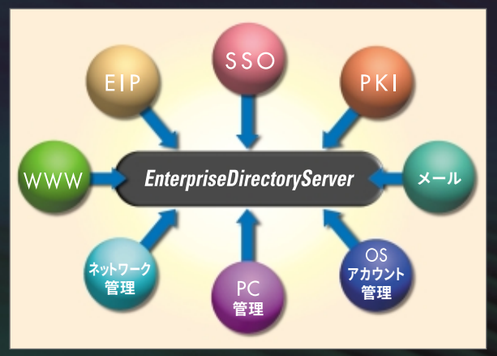
ビジネスを牽引する新しい情報共有基盤。

LDAPに基づく情報資源の共有基盤が、情報の価値を飛躍的に高めます。

急増する情報資源をいかに管理していくかが、重要な課題となっています。
多種多様な領域にわたる膨大な情報資源を一元的に管理する、情報共有のためのインフラとして、
EnterpriseDirectoryServerがあなたのビジネスをサポートします。

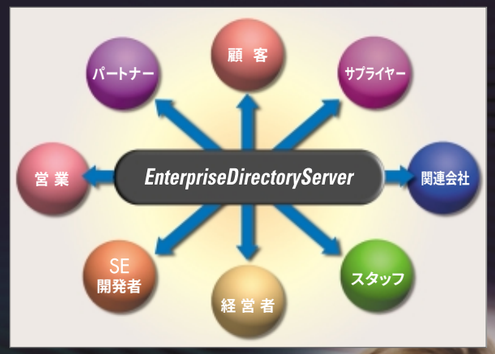
さまざまなサービスやビジネスに必須の新しいインフラ

今日、サービスやビジネスの基盤としてさまざまなソリューションが提供されています。たとえば、EIP（Enterprise Information Portal）、SSO（Single Sign On）、OSアカウントの統合、WWWアクセス管理、メール管理（電子電話帳）、ネットワーク機器管理、PC管理、PKI（Public Key Infrastructure）などがそれにあたります。これらのソリューションに関連する膨大な情報を、すべて個別に管理していこうとすると、管理コストの上昇などの負担をもたらし、大きな課題となってくるでしょう。
EnterpriseDirectoryServerは、これら膨大な情報を一元的に管理し、結果的にさまざまなサービスやソリューションを連携・共有させることでソリューションの価値を飛躍的に高める、ソリューションインフラストラクチャです。



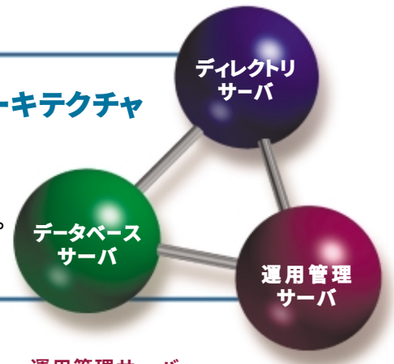
一人一人に対するソリューションの提供を実現

EnterpriseDirectoryServerは、ソリューションの情報共有基盤として管理コストを削減するだけのものではありません。さまざまなソリューションを、個人レベルでのデータ管理方法に基づいて構成することにより、一人一人に対応した個別のソリューションを提供することが可能になります。これにより、社員や顧客一人一人に対する新たなサービスやビジネスの提供を実現することが可能になります。



EnterpriseDirectoryServerアーキテクチャ

EnterpriseDirectoryServerは3種のサーバ機能で構成しています。1つ目は、LDAP通信を行うディレクトリサーバ。2つ目は、データを格納するデータベースサーバ。そして3つ目が運用管理サーバです。



ディレクトリサーバ

LDAPv3 ディレクトリ

- IETF標準であるLDAPバージョン3(RFC3377)に準拠
- ITU/ISOのX.500をベースにした機能拡張
- 標準スキーマをサポート。スキーマ拡張が可能
- リファラル(紹介)とX.518に対応したチェイニング(連鎖)を装備

セキュリティ

- クライアント・サーバ間、サーバ・サーバ間において、SSL/TLSによる暗号通信が可能（オプション）
- X.509電子証明書による厳密認証機能、CRL（証明書失効リスト）チェックもサポート
- SSLなしの環境でも任意の属性値を暗号化して通信可能
- X.501に準拠したアクセス制御。12種類のアクセス権を用いて設定可能
- SASL DIGEST-MD5(auth-conf),CRAM-MD5をサポート
- パスワードポリシーによる安全なパスワード管理
- パスワード暗号化方式（MD5, SHA, crypt, SSHA, SMD5）をサポート

レプリケーション

- マルチマスターレプリケーション
- LDAP によるレプリケーション
- レプリケーション環境構築ツールを装備
- レプリケーション間隔を任意の時間で指定可能。
- 優先属性指定による即時反映可能
- 異なるOS間のディレクトリのレプリケーション、分散ディレクトリが可能

集合属性

- サブツリーに共通の属性を集合として設定可能

アカウント統合機能

- 属性値(ユーザIDなど)での認証可能。属性値の一意性を保証
- 属性型に別名定義により、既存の属性の流用可能
- UNIXアカウントでの利用を考慮し、属性値を小文字変換して返却可能
- 運用開始後でもオブジェクトクラスに属性型を追加可能
- 指定されたユーザでの認証を不可にするアカウント無効化機能
- 本務と兼務で、アクセス権限の区別、パスワードポリシーの統一可能

データベースサーバ

ミッションクリティカル

- 無停止運用を実現するデータベース機能を装備。データベースとしてオブジェクト指向データベース「PERCIO」を内包搭載
- スケジュール運転可能なオンラインバックアップ機能とリストア機能
- ロールバック機能やロールフォワードを実行するジャーナル機能
- ハード障害に対応するレプリケーション機能とクラスタシステムへの対応

スケーラビリティ

- 大量のデータを一括ロードする高速ロード機能

パフォーマンス

- 世界最高レベルの検索性能（2,782DOPS）を達成※
- データ容量増大に伴う性能劣化を低減するキャッシング機能
- LDAP基本検索とブール演算子による組み合わせ検索が可能

※ Mindcraft社が提供するベンチマークテスト（DirectoryMark 1.2)を使用。当社調べ。

運用管理サーバ

運用管理

- 証明書の管理機能を装備
- JavaによるGUIを装備。設計～構築～運用をGUIから実行可能
- バッチ処理を可能とするコマンドラインユーザインタフェース（CUI）を装備
- 運用状況を把握するパフォーマンスモニタやログ出力を装備
- IETF標準のMIB（RFC2605）をサポート

クロスプラットフォーム

- 一つの運用管理ツールから複数のディレクトリサーバの運用が可能

開発キット

- Java言語、C言語、C#言語に対応したSDKを同梱
- Java（JNDI）、Visual Basic（ADSI）に対応
- ユーザ固有のカスタマイズが可能なプラグイン機能
- DSMLv2 機能のサポート。XMLでのディレクトリアクセス、LDAPに対応しないファイヤウォール越え可能

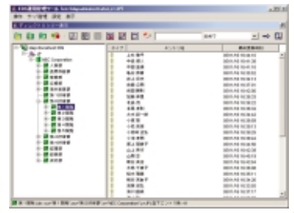
Ver5.0 での機能強化

データ連携機能強化

- ActiveDirectory,Dominoとのマッピングルールに基づく双方向データ同期
- Windowsパスワード同期ツールを提供
- 他のディレクトリ（OpenLDAP,SunJava）へのデータ複製
- パスワードポリシーをActiveDirectoryに反映
- CSVファイルによる追加、更新、削除
- 2つのCSV形式ファイルから差分情報を出力
- MIIS用EDS 管理エージェント

運用性・セキュリティ向上

- 同時接続数拡大
- パスワードのサーバサイド暗号化
- 運用管理ツールでのアカウントの有効化/無効化を可視化
- 文字コード種別の動的判定（UNIX版のみ）



運用管理ツール画面